

平成26年度 国立吉備青少年自然の家教育事業

## 野外活動研修会

平成26年8月3日（日）

### 1. 事業の目的(趣旨・ねらい)

小学校長期宿泊体験活動実施校が野外体験活動の指導を行う中で効果的な指導を行い、体験活動における当初の目的を達成するために、実地踏査や実習をとおして技術や指導法を習得する。

### 2. 事業の概要

(1) 日程

平成26年8月3日（日）

(2) 募集人員

20名（宿泊体験活動を国立吉備青少年自然の家で行う学校の引率者）

(3) 参加者

12名

(4) 講師

国立吉備青少年自然の家 企画指導専門職

(5) 企画・運営のポイント

- 2つのコースを設定し、団体の活動が事前に行えるようにした。
- 実際のプログラム内容の体験をすることで、児童の思いや時間の流れ、導法や声かけのポイントを事前に把握し、長期宿泊体験活動でねらいに迫ることができるようにした。
- 研修の日程を1日として、効率的に事前準備が指導や安全管理も含めて行えるような活動内容に構成した。また、次の活動につなげる意義や方法についても扱い、3泊4日全体がイメージできるようにした。
- ロングウォークのコースを自転車で踏破することで、短時間に休憩場所や行程をつかむことができるようにした。また、迷いやすいポイントも地図と照らし合わせて確認できるようにした。
- 小学校長期宿泊体験活動の導入で行う仲間作りゲームを体験することで、補助としての姿勢や指導時の注意点を伝えるようにした。
- 多くの学校が利用する8月初旬に日程を設定して、自然環境の変化がないようにした。

### 3. 活動の内容等

#### (1) 日程

		9	10	11	12	13	14	15	16
A コース	晴天時	受付 多	研修1 カッター 鳴滝湖	研修2 野外炊事 指導ポイント CR CRK	屋食 レストラン	研修3 ロングウォーク コース実地踏査(自転車) 吉備津神社～砂川公園 所外			解散
	荒天時	同上	イニシアチブゲーム 多	同上	同上	コース確認(自動車) 同上		解散	
		9	10	11	12	13	14	15	16
B コース	晴天時	受付 多	研修1 カッター 鳴滝湖	研修2 野外炊事 CR CRK			研修3 イニシアチブゲーム プログラム相談 多		退所
	荒天時	同上	イニシアチブゲーム 多	同上			同上		同上

#### (2) 活動の状況

##### 〈研修の様子〉



体験活動の指導法



体験の言語化と活用法



イニシアチブゲーム

## 4. 成果・課題

### (1) 成果

- ・各コースとも活動の前に、体験学習法についての説明を行い、体験のやりっ放しではなく体験を通して学ぶことを理解してもらった。
- ・「カッター活動」では、実際に行う事前指導の櫂の操作を安全管理も含めて行い、艇長としての心構えをもち実演へと向かった。艇長と漕ぎ手の体験を交代して行うことで、リズム良く漕ぐこととそのための声掛けや、休憩のタイミング等を確認することができた。また、宿泊時には事前指導の成果が生かされ活動内での関わり方にゆとりが生まれ、子供たちの活動を見守ることができたとのコメントを頂いた。
- ・「野外炊事」では、実演の前に新しい道具の扱い方や、活動の流れと効果的に指導するためのポイントを伝えた。実演では、前段に伝えた内容を確認しながら行い、各校でめあての持たせ方や取り組ませ方を片付けまで含めて検討する姿が見えた。また、宿泊時には学校独自の方法で子供たちにめあてを持たせて取り組ませることができていた。
- ・「イニシアチブゲーム」では、実際のゲーム体験と解説、指導者のポジションを交えて行った。事前に確認しながら行えたので、宿泊時には、施設職員と引率教員の分担もスムーズに行うことができた。
- ・「ロングウォーク実地踏査」では、行程のポイントを自転車で移動しながら確認することを計画していたが、雨天のため自動車で行った。道を迷うポイントや休憩箇所等を確認することができた。

### (2) 参加者の声

○ 事業全体に対する満足度・・・100%

{参加者自由記述}

「すごくとてもよかったです。」

「楽しい研修でした。良い勉強の場となり、充実した1日でした。」

「自然教室を目前にひかえ、助かりました。」

「説明が一貫としており、ねらいが明確でした。」

「最後に情報交換の場があり、より深い協議となりました。」

「3泊4日の宿泊体験の有効性をぜひ、各校の管理職の方々に説明していただきたいと思った。」

「活動は目的を明確にしておかないと効果が高まらないことがよく分かりました。」

「実際のアクティビティは運営方法が分かり、参考になりました。」

### (3) 今後の課題等

- ・小学校長期宿泊体験活動新規実施校を対象に考えて実施したが、内容はどの団体にも通じるところなので、定期的の実施して、体験活動の充実を図りたい。
- ・今回の内容はこちらから一方的に提供する内容だったので、団体のねらいに応じた展開ができるように、事前に要望等を聞いてそれに応じた内容にしていきたい。
- ・実施時期を2回としたが、1回目は学期末ということで参加者が募らず中止とした。施設見学の多い時期を調べて、多くの方が参加できる実施日を探っていきたい。

担当：主任企画指導専門職 宇江 賢